TOBU

マンスリー とーぶ

12
December/2018
No.836

マンスリーとーぶ 検索

暮らしの SPICE
抹茶のミルクレープで
和風のクリスマスを

インタビュー
民俗学者・学習院大学教授・福島県立博物館館長
赤坂 憲雄

新・駅前そぞろ歩記
浅草～とうきょうスカイツリー

暮らしのSPICE

抹茶のミルクレープで和風のクリスマスを

今年もいよいよ残りわずか。街にはクリスマスソングが流れ、デパートのイルミネーションが目を楽しませてくれる季節になりました。今年は和風のクリスマスデザートとして、抹茶のミルクレープを作ってみませんか？ 材料を少し変えるだけで、和テイストに。ホットプレートを使って、お子様と一緒に楽しく作ってみましょう。素敵なクリスマスを！

■道具
ホットプレート、ボウル 3、計量スプーン、デジタル計量器、計量カップ、茶こし、キッチンペーパー、フライ返し、お玉、スプーン、フォーク、バターナイフ、包丁、泡立て器、菜箸、カッティングボードまたはまな板、大きめのお皿、小鍋（雪だるま用）

■材料　抹茶のミルクレープ　2人分
上新粉 70g、きび砂糖大さじ 2、塩少々、卵 1、甘酒 130ml、太白ごま油小さじ 2、茹であん 200g、生クリーム 100ml、抹茶小さじ 2、オリーブ油またはサラダ油、栗の甘露煮、粉砂糖、ラムネボールはお好みで

Mille crêpes

あまった上新粉を小鍋でゆで、雪だるまを作ってみました。

【ワンポイント MEMO】

○生クリームは泡立てる直前に冷蔵庫から出して、よく振ってからボウルに出しましょう。
○泡立ちがしづらい場合は、ボウルの下に氷水をあてながら混ぜます。
○甘酒は粒が無いほうが焦げにくいです。

料理コーディネーター／染谷マリコ

⑫粗熱がとれたらカッティングボードに一枚ずつ移して、間に茹であんと冷やしておいた抹茶クリームを塗り重ねていく。

⑬最後の一枚を重ねたらモミの木をイメージして、包丁を上から押さえるようにカット。

⑭デコレーション用のクリームを、スプーンやフォークを使って枝のようにデザインする。

⑮お皿に粉砂糖をひき、残りの抹茶を茶こしに入れふりかける。

⑯栗の甘露煮とラムネボールを飾って完成。

⑦ホットプレートを保温にして、温かくなったらオリーブ油を薄くひき、余分な油をキッチンペーパーでふきとる。

⑧生地をお玉で流し、手早く薄く広げる。

⑨ところどころふくらんできたら

⑩破れないようにていねいに裏返す。

⑪火が通ったらお皿に重ねていき、同じように焼いていく。

①ボウルに生クリームときび砂糖大さじ1、抹茶小さじ1を入れる。

②つのが立つまで泡立てる。4分の1を小ボウルに分けて（デコレーション用）、両方とも冷蔵庫で冷やす。

③別のボウルに上新粉、残りのきび砂糖、塩少々を入れ、泡立て器で全体を混ぜ合わせる。

④さらに卵を入れ、混ぜる。

⑤かき混ぜながら少しずつ甘酒を入れ、なめらかに。

⑥太白ごま油も同じように、混ぜてなめらかにする。

【民俗学者・学習院大学教授・福島県立博物館館長】

赤坂 憲雄 さん

写真＝長坂芳樹／渋谷東武ホテル

「東北学」を提唱してきた、民俗学者の赤坂憲雄さんを惹きつけてやまない「会津」。福島県立博物館館長を務める赤坂さんに、「会津」の旅の魅力をたっぷりと語っていただいた。

Human-Report
……人間大好き……
357

●あかさか のりお
1953年東京生まれ。東京大学文学部卒業。東北芸術工科大学大学院長を経て、2011年学習院大学文学部教授に就任。現在、福島県立博物館館長。民俗学者として「東北学」を提唱、その研究のフィールドは日本全国に及ぶ。著書に『東北学／忘れられた東北』、『岡本太郎の見た日本』（2008年芸術選奨文部科学大臣賞受賞）、『イザベラ・バードの東北紀行［会津・置賜篇］』など多数。

「東北学」の根底にある縄文文化を探し求めて

――「東北学」を提唱されていますが、大学で民俗学を学ばれたのですか？

赤坂　いえ、大学は文学部で、専攻はインド哲学でした。その後、日本の民俗学を創った柳田国男の著書を読んで興味を持ち、本気で勉強し始めたのは大学を出てからで、民俗学に関してはまったくの独学なんです。私は東京のいわゆる武蔵野と言われる地域の育ちですが、父は関東に近い福島県東白川郡鮫川村という山村の生まれで、炭焼きをしていたそうです。いまの東北は品種改良のお陰で米どころですが、昔は特に山間部では米は作られてはいなかった。父からも田んぼや稲の話を聞いたことはなかったので、柳田国男を読んでいてどこか馴染めなかったのは、その日本文化論の根本が稲を作る常民にあるからだと感じて、より多様な日本文化を探し始めたのです。

――それで東北に興味を持たれたのですか？

赤坂　ええ、ちょうどその頃、山形市に創設された東北芸術工科大学から声をかけていただき、20年足らず、民俗学、日本文化論、東北文化論を教えていました。

――それから東北のフィールドワークが本格化するのですね。

赤坂　ええ、４ＷＤの車で東北中を駆け回りました。東北地方はいまでこそ米どころですが、歴史を紐解いていくと決してそうではなく、焼畑、狩猟、採集という縄文的な暮らしが長く続いていた地域なのです。東北文化の根底には「縄文」があると最初に気づいたのは芸術家の岡本太郎でした。彼は1951年に上野の東京国立博物館で縄文土器を見て、「身心がひっくりかえるような発見」をして、縄文土器のなかにそれを造った人々の精神世界を探り始めました。岡本太郎は前衛的な画家として知られていますが、フランスに留学していた二十代に文化人類学者マルセル・モースのもとで民族学を学んでいるんです。

イザベラ・バードの歩いた会津への道を旅する

――現在は福島県立博物館の館長としてご活躍されていますが。

赤坂　平成15（２００３）年からです。博

赤坂憲雄さんの新刊ご紹介

『武蔵野をよむ』赤坂憲雄 著(岩波新書　2018年10月19日刊)

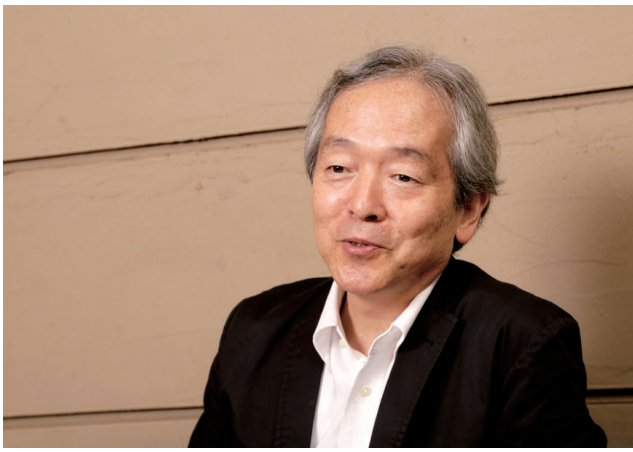
120年前に武蔵野の美しい風景を発見した、国木田独歩の『武蔵野』を読み解き、その成り立ちの謎に迫りつつ、あらためて現代の武蔵野を探り求める。新たな地域学としての「武蔵野学」の誕生を予感させる書き下ろし、新書で登場。

物館は会津若松市の鶴ヶ城公園内にあって、会津を中心に、福島県の歴史、自然、民俗に関する展示を行っています。

――昨年から特急リバティで浅草～会津田島間が一本で結ばれ、会津田島から会津鉄道に乗れば、浅草から会津若松まで一度の乗り換えで行けるようになりました。

赤坂　特急リバティで会津への旅がグッと便利になりましたね。ぜひ乗ってみたいな。東京から北上して行くと、関東は鹿沼あたりまでは照葉樹林帯ですが、次第にブナが多くなり、会津あたりはもう見事なブナ林が広がっています。そういった植物分布の変化を車窓から眺めるというのも、鉄道の旅の楽しみですね。車を運転しているとそうはいきませんからね(笑)。

　明治の初めに東北を旅したイギリスの旅行家イザベラ・バードも、『日本奥地紀行』の中で植物分布の変化に触れていますね。バードは春日部、鹿沼からの杉並木を今市、日光へ、そして鬼怒川沿いを藤原、大内宿から野沢へとたどりましたが、会津西街道を行くルートですから、ちょうど東武鉄道、野岩鉄道、会津鉄道の沿線ですね(笑)。彼女の歩いたコースを、彼女の旅行記を片手に訪れるのも楽しいでしょうね。



――当然、会津へ行く機会も多いと思いますが。

赤坂　ええ、会津地方はずいぶん歩きました。近世の会津藩は教育水準も高く、福島の文化的な中心地でした。そういう文化風土が戊辰戦争の後にも優れた人材を輩出しています。大河ドラマ『八重の桜』の主人公、新島八重の兄で会津藩士だった山本覚馬という人は、京都府顧問として近代京都の基本的なデザインをした人です。あの時代の京都でそれをなし得たのは、彼が利権から距離を置き、しがらみがなかったからでしょうね。「あの男は利権では動かない」という信頼ゆえに、京都の復興のためのむずかしい大役が会津人の覚馬に委ねられたのです。

――今こそ、必要とされるような人物ですね。

赤坂　そうですね、政治が乱れた過渡期には、そういった人が求められるのです。会津の出身者では野口英世が有名ですが、ハンセン病患者の救済に一生を捧げ「日本のマザー・テレサ」とも言われている井深八重や、戊辰戦争で負傷した兵士を敵味方の分け隔てなく救助し、「日本のナイチンゲール」と言われた瓜生岩子(うりゅう)なども、会津らしい人ですね。

会津の魅力は温泉、酒、漆器と盛りだくさん

――赤坂さんにとって会津の魅力とは？

赤坂　会津は泉質の違う温泉がたくさんあって、温泉好きとしては実に楽しいところですね。また、会津はお酒が本当においしい。私は飲める方ではなく、舐める程度なのですが、会津に来て初めて日本酒のおいしさを知りましたね。会津名物の「ニシンの山椒漬け」で飲むお酒は、

下戸であることを忘れるほどにおいしいです。

――会津は名産品もたくさんありますね。

赤坂　ええ、たとえば漆器も大変に深い歴史がある。三島町の荒屋敷遺跡からは土器ばかりでなく、漆器などの木製品も多く出土し、今年、国重要文化財の指定を受けました。只見川沿いの低湿地帯だったため、ほかの遺跡では稀にしか見られない木製品などが残ったのです。その後、平安時代初頭に法相宗の徳一という偉いお坊さんが慧日寺（現・恵日寺、福島県耶麻郡磐梯町）というお寺を会津に開いてから、仏教文化が根付いたことで、いっそう漆塗りが盛んになるのです。縄文晩期の遺跡ですから、会津の漆器は３０００年近い歴史があるとも言えますね。

――今では観光名所になっている下郷町の大内宿も会津ですね。

赤坂　あそこは江戸時代の会津西街道の宿場で、イザベラ・バードも宿泊しています。大内宿の民宿では、遠いバードの記憶のかけらに触れたことがあります。明治になって新しい街道ができたため主要ルートから外れて昔のままで残っていたのを、１９６０年代に民俗学者の宮本常一らが保存に力を尽くしました。宮本は日本中を歩きましたが、「今そこにある風景をそのまま残したら、１００年後にはかけがえのない文化遺産になり、観光資源にもなる」という言葉を残しています。まさに大内宿がそれで、先見の明があったのですね。

――今後のご予定は？

赤坂　『武蔵野をよむ』という本を出したばかりです。今度は父の育った東北ではなく、自分自身の育った武蔵野について、国木田独歩の名著『武蔵野』に描かれた武蔵野を読み解き、これからの武蔵野を考えてみたい。「武蔵野学」がほしいですね。武蔵野といっても、独歩の住んでいた豊多摩郡渋谷村は宇田川沿いの丘の上で、現在の渋谷区宇田川町、ＮＨＫ放送センターから道路を挟んだあたりで、「国木田独歩住居跡」という標識が建っています。武蔵野らしい風景は、いまでは国分寺や府中あたりより埼玉の方に豊かに残っています。それこそ東武東上線沿線ですね（笑）。

遊佐農場の野菜を使ったキッシュとコーヒー
キッシュはテイクアウトも可

旧日光街道に面した「はかり屋」。昔ながらの格子が宿場の風情を残す

古民家のやすらぎ

文　高田 京子

日光街道は、ご存知のように江戸期に整備された五街道のひとつ。江戸日本橋を起点として日光東照宮まで、総延長は約142㎞に及ぶ。街道には21の宿場が設けられ、現在の埼玉県内には6つの宿場があった。私が住む越谷（越ヶ谷宿）は、千住、草加に続く3つ目の宿場となり、幕府の命により街道に面して直角に屋敷割がされ、明治期には防火のため蔵を立てる家が増えたという。

今ではもうすっかり現代風の町並みになっているかと思いきや、旧日光街道沿いで「これはかなり古いぞ」という建物に出会うことがある。間口は狭いが奥へ縦長の敷地が広がる、またはその痕跡を見つけると胸がざわめく。そんな私がずっと気になっていたのが「はかり屋」さんだ。

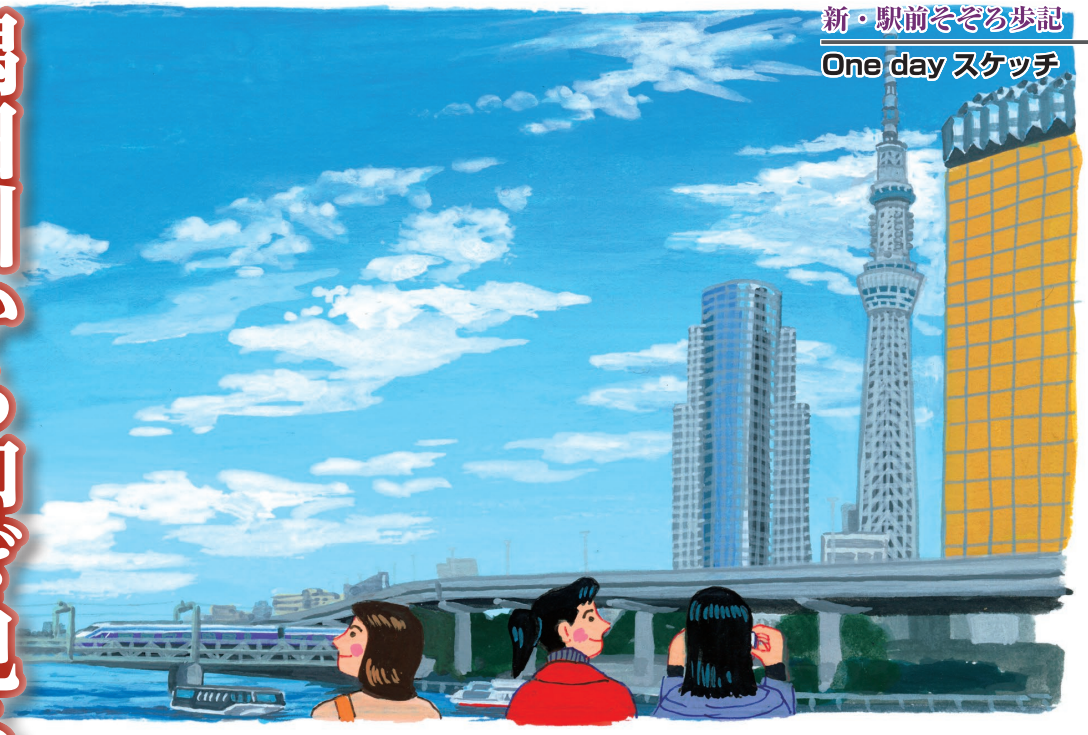
火事の後、再建された明治38年頃から100年以上、街道を見つめ続けてきた「旧大野邸秤（はかり）屋」をリノベーション。古民家複合施設として今年の春誕生した「はかり屋」には、フレンチレストラン「modest」、ギャラリーショップ「TSURUTO（つるると）」、キッシュとフレンチ惣菜の店「minette（ミネット）」、テラリウムと植物の店「green bucker」などの他、「naya」という貸しスペースがある。ここは曜日ごと、週末は単日ごとに内容が入れ替わり、地元産の野菜を販売する「遊佐（ゆさ）農場」、曼荼羅（まんだら）アート、音楽教室、アクセサリー工房など、毎日来てのぞいてみたいユニークな空間だ。

和の空間とフランスアンティークが調和した「minette（ミネット）」には常時6種類ほどのキッシュが並ぶ。二階のカフェはランチも提供。懐かしい丸いちゃぶ台で、遊佐農場の野菜を使ったキッシュとコーヒーをいただく。古い家を壊すのは簡単だが、私たちは二度と同じものを作れないのだ。時を重ねた建物だからこそ感じさせてくれるやすらぎに包まれて、ついつい長居をしてしまうのは、私だけではないようだった。

たかだ きょうこ／旅行ライター
昭和35年、神奈川県生まれ。著書に『ニッポン最古巡礼』（新潮新書）、『四国八十八カ所めぐり』（JTBパブリッシング）など。テレビ朝日「スーパーJチャンネル」特集コーナーにて「秘境ハンター」としてナビゲーターを務めることも。東武沿線在住歴30年目に突入！

はかり屋／東武スカイツリーライン越谷駅より徒歩8分／https://hakari-ya.jp/　※営業時間、休業日は各店舗によって異なる
「minette（ミネット）」／☎048-940-5465／11：00～18：00（ランチ11：00～14：00、カフェタイム14：00～16：00※営業時間中はテイクアウトができます）、水曜・第三火曜定休

隅田川から仰ぎ見る光の舞いは冬の夜空へ



こんにちは、あずまです。今月は、お友だちと浅草から東京スカイツリー周辺をそぞろ歩いてきました。これは吾妻橋からの眺め。何度見ても、未来世界のような眺めで圧倒されます。夜は、東京スカイツリーのクリスマス限定ライティングに、みんな大満足！（MAPのⒶ）

今回の登場人物

田島美奈子
あずまの高校時代からの親友。趣味は映画鑑賞で、茶道の心得もあり。柏市在住。

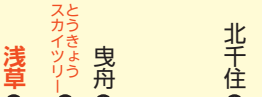
ザリナ
貿易会社に勤める
マレーシア人。
留学生として来日した
大学時代からの
あずまの親友。

業平あずま（なりひら）
業平家の長女。
母親が経営する小学生
向けの英会話教室を
手伝う。
趣味は旅行。

東武スカイツリーラインの浅草駅。国際的観光地の玄関口だけあって、駅構内には「東武ツーリストインフォメーションセンター浅草」と外貨両替所があります。1931年開設。

浅草〜とうきょうスカイツリー

約52万球の光が彩るイルミネーション「東京スカイツリータウン®ドリームクリスマス2018」（12月25日まで）。東京スカイツリー®のクリスマス限定ライティングや、塔体の高さと構造を生かした迫力ある作品を上映するプロジェクションマッピング（12月14日〜25日開催）にも目を奪われます。また、東京スカイツリータウン4階のスカイアリーナには、高さ8mの「花」のクリスマスツリーを中心に「光ガーデン」を設置。昼は色鮮やかな花が彩り、夜は幻想的な光に包まれます。浅草から東京スカイツリータウンへ。今年のそぞろ歩き納めです。



仲見世から「エキミセ」へ。東武スカイツリーライン浅草駅直結の駅ビルに戻りました。お歳暮やクリスマスの買物客で、とても賑わっています。ここ7階のレストラン街「駅見世ごはん」で、ランチをいただきました。(MAPのⓒ)

まずは、浅草寺と浅草神社にご挨拶。仲見世の賑わいは、相変わらずすごいですね。最近は明らかに、外国人観光客が増えています。12月17日～19日の3日間は、浅草寺で羽子板市が開かれますよ。(MAPのⒷ)

吾妻橋を渡り、とうきょうスカイツリー駅のそばにある大横川親水公園へ。東京スカイツリーと2ショットが撮れる大きな円形のミラーがあったり、子どもが楽しめる遊具や釣り堀もある素敵な遊歩道が続きます。(MAPのⒹ)

ランチの後は、屋上の「浅草ハレテラス」へ。ここからの東京スカイツリーの眺めは最高です。浅草駅のシンボル的な時計台も間近に見られます。出世稲荷神社もあって、美奈子が熱心にお参りしていました。(MAPのⓒ)

東京スカイツリー®のトリビアはSKYTREE GALLERYで

まずは浅草寺へ。この浅草寺を核に明治・大正・昭和にかけ、時代を先取りする街として賑わった浅草。現在も日本全国から、世界各国から年間約3000万人もの人びとが参拝に訪れているのです。

東武鉄道の浅草駅直結の駅ビル「エキミセ」も、浅草のランドマーク。外観は昭和6年建設当時のネオ・ルネサンス様式を復元。その屋上は「浅草ハレテラス」。青空に囲まれた開放感あふれる休憩広場で、隅田川の向こうに東京スカイツリーを望む絶景スポットでもあります。

吾妻橋を歩いて隅田川を渡れば、アサヒスーパードライホール。屋上の巨大なオブジェ「金色の炎」は隅田川のランドマークの一つ。墨田区役所の広場には勝海舟の像。江戸城の無血開城を導いた幕末維新の英雄は、江戸本所……現在の墨田区の生まれなのです。

浅草通りを東に歩いていくと、ほどなく東京スカイツリータウン®に到着。いつも大勢の観光客で賑わっています。東京スカイツリーの1階団体フロアには今年、東京スカイツリーの構造や特徴などのトリビアを楽しく学べる「SKYTREE GALLERY」が誕生。最頂部634mにある避雷針を、実寸大で再現しています。

ポーランドにある世界遺産、ヴィエリチカ岩塩坑で働く職人に制作を依頼した、「聖キンガ像」。高さ約9mの像はもちろん、周りの壁や床、シャンデリアまで岩塩でできています！（MAPのⒺ）

遊歩道の先には「たばこと塩の博物館」。3年前に渋谷から移転してきました。これは江戸時代のたばこ屋さんの様子を、人形を使って再現したもの。隣には昭和50年代のたばこ屋さんを移築したものが。（MAPのⒺ）

猫のいない猫カフェ「押上猫庫（おしあげにゃんこ）」。クラシック音楽が流れる中、ネコのラテアートを楽しみながら、可愛い猫グッズにもうっとり。夜は日本酒と料理・器を楽しめるバー「押上文庫」に変身！（MAPのⒼ）

ここは「高木神社」。ご祭神がタカミムスビノカミであることから、境内には「結び石」などおむすびキャラがあちこちに。また、人気アニメ「からかい上手の高木さん」とのコラボで、アニメファンからも注目の的。（MAPのⒻ）

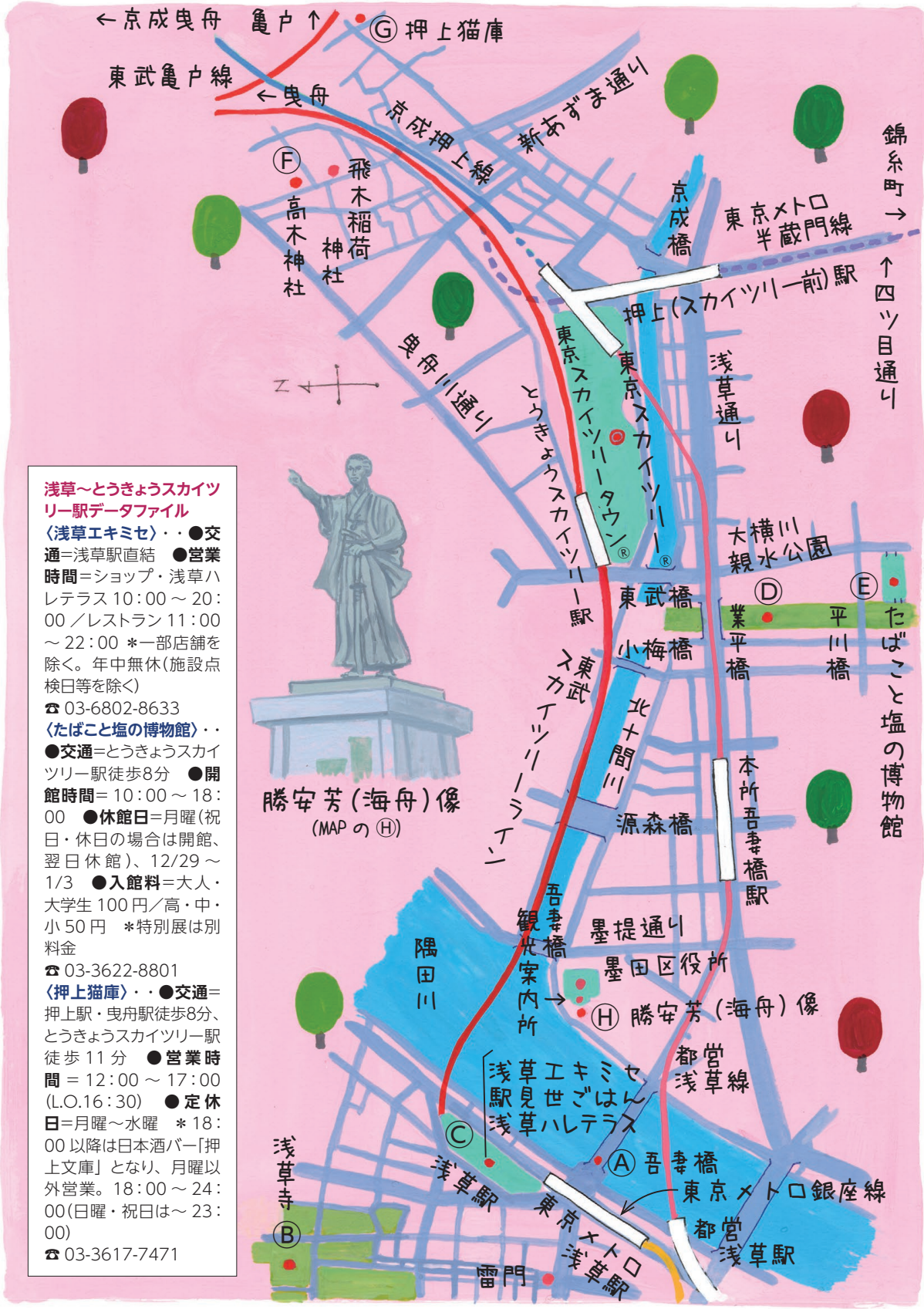
下町風情あふれる業平橋・押上を歩く

東京スカイツリーが建つ業平橋・押上地区には幾筋もの掘割が引かれていますが、その一つを埋め立てて整備したのが、全長約2kmの大横川親水公園。

釣り堀のある釣川原ゾーン、子どもたちが水と親しめる河童川原ゾーン、渓谷の雰囲気がある花紅葉ゾーン、イベント広場となるパレットプラザゾーン、スポーツ広場であるブルーテラスゾーンと、5つのゾーンに分かれています。さらに、船の形の大型遊具や、東京スカイツリーとのベストショットが撮れるミラー、噴水などもある憩いの公園です。

公園のそばには、渋谷から移転してリニューアルオープンした「たばこと塩の博物館」。たばこと塩の歴史と文化を広く展示・紹介する施設です。この冬は開館40周年記念特別展「ウィーン万国博覧会」を開催中。明治6年のウィーン万博で日本から出品された工芸品の数々を紹介しています。

下町風情にあふれた押上の路地を歩いていくと、大イチョウがある飛木稲荷神社や、アニメ「からかい上手の高木さん」とのコラボからアニメファンが聖地巡礼に訪れる高木神社などの古社があります。そして、浅草～業平橋・押上で紹介したどのスポットにも、東京スカイツリーが顔を見せているのでした。



浅草〜とうきょうスカイツリー駅データファイル

〈浅草エキミセ〉・・●**交通**=浅草駅直結　●**営業時間**=ショップ・浅草ハレテラス10:00〜20:00／レストラン11:00〜22:00 ＊一部店舗を除く。年中無休(施設点検日等を除く)
☎03-6802-8633

〈たばこと塩の博物館〉・・●**交通**=とうきょうスカイツリー駅徒歩8分　●**開館時間**=10:00〜18:00　●**休館日**=月曜(祝日・休日の場合は開館、翌日休館)、12/29〜1/3　●**入館料**=大人・大学生100円／高・中・小50円　＊特別展は別料金
☎03-3622-8801

〈押上猫庫〉・・●**交通**=押上駅・曳舟駅徒歩8分、とうきょうスカイツリー駅徒歩11分　●**営業時間**=12:00〜17:00(L.O.16:30)　●**定休日**=月曜〜水曜　＊18:00以降は日本酒バー「押上文庫」となり、月曜以外営業。18:00〜24:00(日曜・祝日は〜23:00)
☎03-3617-7471

※新・駅前そぞろ歩記のバックナンバーは「マンスリーとーぶ」ホームページでご覧いただけます。マンスリーとーぶ 検索

蒸気機関車の復元に挑戦！

東武鉄道

東武鉄道では、C11形蒸気機関車（以下：復元予定機）の動態保存への復元に着手します。蒸気機関車を動態保存用として復元するのは大手私鉄として初めてです。

当社では、2017年8月10日より東武鬼怒川線にてSL復活運転を実施していますが、このたび、日本鉄道保存協会より東武博物館が譲り受けた復元予定機の復元に挑戦し、SL全般の技術力を磨き上げ、「鉄道産業文化遺産の保存と活用」を推進していきます。復元は2020年冬を予定しており、現在の蒸気機関車「C11 207」と合わせて2機体制で、日光・鬼怒川エリアで年間を通してSL運転が可能となるほか、他線区でのイベント運転も検討可能となり、「日光・鬼怒川エリアの活性化」をさらに推進していきます。

「SL大樹公式サイト」

◆今回復元予定のC11形蒸気機関車について

1947年に江若（こうじゃく）鉄道（滋賀県）の発注により、日本車輌製造にて製造。江若鉄道で客車を牽引したのち、1957年から雄別炭礦（ゆうべつたんこう）鉄道（北海道）、1970年から釧路開発埠頭（北海道）にて貨物列車を牽引して活躍しました。1975年廃車後、静態保存されていました。

復元予定機（雄別炭礦鉄道時代）
撮影：石川一造（提供：名取紀之）

「社会環境報告書2018」を公開しました！

東武鉄道

東武鉄道では、社会と環境への取り組みをご紹介する「社会環境報告書2018」を作成し、東武鉄道公式ホームページで公開しています。

本報告書は、公共交通機関としての安全・安心・快適に向けた取り組み、子育て世代やシニア世代など多世代が暮らしやすく豊かになれる沿線生活環境をつくるための取り組みをご紹介しているほか、様々な地域活性化への取り組みや、各事業における環境配慮に対する取り組みなどを取り上げています。

持続可能な社会の実現に向けて、東武鉄道が行っている「社会とのかかわり」と「環境保全への取り組み」を皆様に報告し、コミュニケーションを深める目的で制作・公開しています。ぜひ、ご覧ください。

「社会環境報告書2018」

社会環境報告書2018

東京スカイツリータウン®のお正月

東京スカイツリータウン

東京スカイツリータウンでは、12月26日㈬～2019年1月7日㈪の期間、様々なイベントを開催します。

東京スカイツリー®では、12月31日㈪23時50分から2019年1月1日(火・祝)6時まで、日本国旗をイメージした「年越し特別ライティング」を点灯します。また、地元墨田区の木瀬部屋の力士と展望台で力比べをして写真撮影ができるイベントを開催するほか、三が日限定で天望回廊にご入場の各日先着2019名様にオリジナル絵馬ストラップをプレゼントします。

東京ソラマチ®では、墨田区出身の書道家・鈴木猛利氏によるパフォーマンスや木瀬部屋力士による振る舞い酒をはじめ、獅子舞、新春大道芸などのイベントの開催や、「すみだ水族館」とイタリアンレストラン「ARA SORA SEED FOOD RELATION RESTAURANT」がコラボレーションした特別な福袋も販売します。

このほか、下町に根ざす〝日本らしい〟お正月を堪能できる様々なイベントを行いますので、ぜひこのお正月は東京スカイツリータウンにお越しください。

お相撲さんと力比べ(過去の様子)

書道パフォーマンス(過去の様子)

©TOKYO-SKYTREETOWN ©TOKYO-SKYTREE

「スカイツリー®ビューレストラン簾(れん)」リニューアルオープン

東武ホテルレバント東京

東武ホテルレバント東京では、24階にある「スカイツリー®ビューレストラン 簾」が11月1日にリニューアルオープンしました。

こだわりの「めじ節」から出汁を取り、素材本来の味を生かして季節感を盛り込んだ日本料理と、シェフが選んだ黒毛和牛を備長炭でじっくり二度焼きし、目の前で切り分けてお出しする炭火焼フレンチ。大切な日や記念日のお祝いに、慶事や法事のご会食など、様々なシーンに合わせてご利用いただけます。

最上階からの景観と、個室も増えたプライベートな空間で、特別なひとときをお過ごしください。

【店情報】

日本料理 ランチ
11：30～15：00(L.O. 14：00)
日本料理 ディナー
17：30～22：00(L.O. 21：00)
炭火焼フレンチ ディナー
17：30～22：00(L.O. 21：00)

ご予約・お問い合わせ
☎03(5611)5591 レストラン予約課(10：00～19：00)

スカイツリー®ビューレストラン 簾

鉄道好きの小学生必見‼

お子様駅長体験×駅のお仕事体験 福袋を販売

東武百貨店

東武百貨店 池袋本店では、小学生の方限定で東武東上線池袋駅駅長室での駅長任命式、東武鉄道の制服着用、駅員さんのお仕事体験など、普段では体験できない福袋を販売！ 駅長体験のあとは、東武百貨店 池袋本店のレストラン街スパイスにてランチもご用意しております。

鉄道好きの小学生にはたまらない夢の福袋は3名様限定です！

ぜひ、たくさんのご応募をお待ちしております。

2018年実施の様子

■**福袋名**：東武東上線 池袋駅お子様駅長体験×駅のお仕事体験福袋
■**価格**：2,019円(税込)
■**募集人数**：小学生3名(男女小学校1～6年生) …お付添いの方3名様まで同伴可能です。
※池袋本店限定の福袋です。
■**応募期間**：12月26日(水)～2019年1月3日(木)まで※休業日:2019年1月1日(火・祝)
■**応募方法**：所定のお申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、応募BOXに投函。
※応募者多数の場合抽選
■**応募BOX設置場所**：池袋本店2階 5番地 特設会場
■**応募条件**：小学校1～6年生(2019年1月3日(木)時点)
■**当選発表**：2019年1月4日(金)以降に当選者にお電話でご連絡します。
■**実施日時**：2019年3月31日(日)午前10時より約2時間
※ランチの時間は除く。

埼玉移住希望者向け相談会を開催します！

東武鉄道

東武鉄道と埼玉県では、12月9日㈰に同県内の東武鉄道沿線への移住希望者向け相談会を開催します。

当日は、東武不動産による「家探しのコツ」の説明や沿線市町村の担当者との個別相談会のほか、埼玉県の魅力や住宅に関する補助制度なども紹介いたします。

今回は、「加須市」「川島町」「寄居町」「宮代町」と自然豊かな4市町が参加！

ぜひ、この機会に移住後の暮らしを思い描いてみませんか？

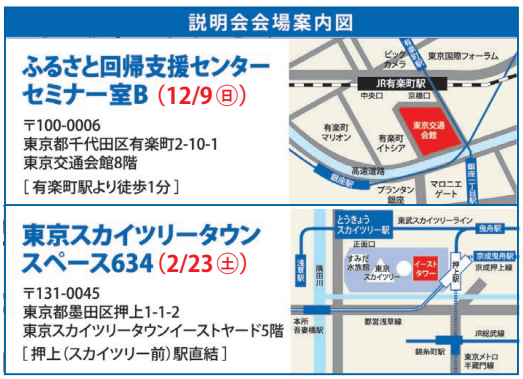
■**日時** 12月9日㈰ 16：00～18：00
■**場所** ふるさと回帰支援センター セミナー室B
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
■**参加費** 無料
■**主催** 東武鉄道、埼玉県
■**共催** 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

「もっとずっとプロジェクト」相談会

■**お問い合わせ** 東武鉄道生活サービス創造本部
☎03(3621)5337
10：00～17：00(土曜・日曜・祝日を除く)

その他詳細は、ホームページをご確認ください。

※2019年2月23日㈯には、東京スカイツリータウン®にて開催いたします。(参加市町村は今回と異なります。)



travel

温泉でクリスマスもお正月も楽しみ！関東近郊のお宿を掲載！FEEL SIMPLE「お正月&冬休み」

東武トップツアーズ

東武トップツアーズでは、冬休みやクリスマス、お正月を楽しめる商品「お正月&冬休み」を発売中です。

栃木・伊豆・箱根・房総・茨城・群馬・山梨・軽井沢など、関東近郊のお宿を118件揃えました。マイカーなどを利用した宿泊のみの宿泊プラン、往復の交通費がセットになったレールプランをご用意しております。

お正月ならではの、お節・お雑煮などのめでたいお食事メニューや、小さなお子様も楽しめるクリスマス・お正月のイベントを行う施設もあります。また、元日の朝、館内または周辺より初日の出を見ることができるお宿も。

さらに、おトクな価格で宿泊できる目玉デーや早期申し込み、連泊の方は旅行代金が割引になるなど、東武トップツアーズならではのおトクなポイントが盛りだくさんです。ぜひお正月、冬休みは温泉でゆっくり過ごしてみてはいかがでしょうか。

※お申し込み・お問い合わせは東武トップツアーズ各支店または WEB 販売センター 東武トップツアーズ 検索

art

特別展「新・桃山の茶陶」12月16日(日)まで

根津美術館

信楽・備前・伊賀の大胆な篦目と歪み、志野の白釉に浮かぶ力強い鉄絵、織部の多彩な形と爽快な釉薬の掛け分け、そして唐津の自由な文様表現。16～17世紀初頭の桃山時代に作られたこれらの茶陶は、中国伝来品とは異なる和物茶陶ならではの魅力に溢れ、日本を代表するやきものと言えます。平成元年に開催した「桃山の茶陶」展から30年の間に著しく進んだ研究の成果を、伝世品と京都で出土した資料と併せてご覧いただきます。

同時開催展は、奈良～江戸時代までの歴史上著名な人物の筆跡を集めた「手鑑」と、炉開きの時期の茶道具の取り合わせ「茶人の正月」です。併せてお楽しみください。12月上旬までは、庭園内の紅葉も見ごろです。

重要文化財 鼠志野茶碗 銘 山の端 美濃
施釉陶器 日本・桃山～江戸時代 17世紀
根津美術館蔵

耳付水指
伊賀 無釉陶器
日本・桃山～江戸時代
17世紀 個人蔵

根津美術館 検索 毎週月曜休館。祝日が月曜の場合は開館し、翌火曜日休館。12月17日から2019年1月9日までは、庭園、カフェを含む全館休館。

Reader's Voice

―読者のページ―「ボイス」

い まは通院で出かける時にのみ「とーぶ」に巡り会えるのですが、とても嬉しい気分になります。色々な印刷物の中から探していると、表紙の絵が目を引きます。（足立区・蛸）

●今月の表紙はサンタさん。嬉しい贈り物になっていたら良いのですが。

駅 前そぞろ歩記を毎月楽しんでいます。地元の周辺駅が取り上げられていると、じっくり読んで、新たな発見にワクワクしています。その後は、クロスワードパズルを解いて頭をひねります。（羽生市・はぎちゃん）

●クロスワードには、駅前そぞろ歩記の内容が毎回ヒントに入っているので、正しい（効率的な?）読み順ですね。

た またま「とーぶ」を手に取ったのですが、最初に開いたページの色鮮やかな「スワッグ」に目を奪われ、家に連れて帰ってきました。クリスマスツリーの代わりに植物を束ねて壁に飾るのは、手軽にできて季節感も味わえる良いアイデアだな、と思います。

料理が好きなので、月桂樹や唐辛子など、料理用ハーブを結んで飾るタイプのスワッグを作ってみます！（野田市・maru）

●月桂樹は冠状にして飾ってもいいですね。そして、赤い唐辛子。どちらも魔除けの効果があるとか。

本誌に対するご感想やご意見など、お寄せください。ホームページからも投稿いただけます。投稿についての詳細は、P18の応募方法をご覧ください。

ミュージアム

開館40周年記念特別展 産業の世紀の幕開け
『ウィーン万国博覧会』
～たばこと塩の博物館

時 2019年1/14(月・祝)まで 10：00～18：00
休 月曜(12/24、1/14は開館)12/25、12/29～1/3
交 とうきょうスカイツリー駅徒歩8分
¥ 一般・大学生300円／満65歳以上150円／高中小100円
☎ 03-3622-8801

ステージ

バレエ・フレイグランス クリスマス第8回公演
バレエの香『珠玉のバレエ創作作品集』
～シアター1010

時 12/14(金)・15(土)
14日19：00、15日16：00
交 北千住駅西口すぐ
¥ S5000円／A4000円／子ども(5歳～小学6年)はS・Aとも3000円 ＊入場は5歳から
☎ 03-5244-1011

コンサート

オペラ彩設立35年記念公演 オペラ トスカ
～和光市民文化センターサンアゼリア

時 12/8(土)・9(日)14：00
交 和光市駅徒歩13分
¥ S 10000円／A 8000円／B 7000円／C 5000円／学生券3500円ほか
☎ 048-468-7771

音楽の絵本～たてがみの騎士
～板橋区立文化会館

時 12/22(土)14：00
交 東上線大山駅徒歩3分
¥ 1500円 2歳以下の膝上鑑賞無料
☎ 03-3579-5666

おーけすとら・ぴとれ座「クリスマスコンサート～足立区民によるギャラク合唱団と共に～」
～西新井文化ホール(ギャラクホール)

時 12/24(月・休)13：30
交 西新井駅徒歩3分
¥ 1000円／高校生以下無料 ＊0歳から入場可
☎ 03-5242-8161

新日本フィル ニューイヤー・コンサート2019 in すみだ曳舟 落語&オーケストラ
～曳舟文化センター

時 2019年1/4(金)15：00
交 曳舟駅徒歩4分
¥ 4000円
☎ 03-5608-1212

イベント

大湯祭(十日市)
～大宮氷川神社

時 12/10(月)
交 東武アーバンパークライン北大宮駅徒歩15分
☎ 048-641-0137

歳の市(羽子板市)
～浅草寺

時 12/17(月)～19(水)
交 浅草駅徒歩5分
☎ 03-3842-0181

納めの大師
～西新井大師

時 12/21(金)＊熊手市は9：00～21：00頃
交 大師前駅徒歩5分
☎ 03-3890-2345

アート

大江戸グルメと北斎
～すみだ北斎美術館

時 1/20(日)まで 9：30～17：30
休 月曜(12/24、1/14は開館、翌日休館)、12/29～1/1
交 JR両国駅徒歩9分、都営大江戸線両国駅徒歩5分
¥ 一般1000円／大高700円／中300円ほか
☎ 03-5777-8600(ハローダイヤル)

草加市60周年記念アニメ
『きみの待つ未来(まち)へ』

YouTubeにて配信中！

今年11月に市政60周年を迎えた草加市が、草加市の歴史や魅力が詰まったアニメを制作。ヒロインのアキコ役は、草加市出身の声優、本名陽子さんが担当する。
☎草加市総合政策課 048-922-0749

※このコーナーで紹介した催しものは変更になる場合もございますので、各お問い合わせ先にて事前にご確認ください。

浅草

ensen CHOICE
米粉のシフォンケーキ工房『otaco』

浅草観音裏、言問通りに面してあるシフォンケーキの専門店『otaco』。
白を基調にシンプルでオシャレな外観と明るい店内。ショーケースに並ぶ一番人気のプレーンシフォンを始め、モカ、抹茶ミルク、ココア、アールグレイなど、6～8種類のケーキ。また、いろいろな味が楽しめるカットシフォンセット(バラエティー4色、6色、12個セット)や誕生日、記念日、プレゼントに喜ばれそうなホールシフォンケーキなどがある。国産の米粉を使用し、丁寧に焼き上げた手作りのシフォンケーキ。もちもち食感とやさしい風味、ほどよい甘さが口の中で広がっていく。

shop data
シフォンケーキ専門店
米粉のシフォンケーキ工房『otaco』
営業時間／10:30~18:00
定休日／日曜日、月曜日
場　所／東武スカイツリーライン
浅草駅徒歩8分
☎03-6458-1375

かわいい！ フランス菓子に夢中

おしゃれで東京スカイツリー®らしいお土産をお探しなら、「銀座ブールミッシュ」の洋菓子はいかが。純フランス菓子の名店から東京スカイツリー®をかたどったスイーツをご紹介します。

東京スカイツリーに見立てた最中に、刻みアーモンドをキャラメルコーティングしてサンドした「東京スカイツリー®フロランタン」。かわいいデザインにサクッとした食感と、キャラメルに包まれたアーモンドの香ばしい味わいが大人気です。

「ブールミッシュ」の定番焼き菓子「フレンチワッフル」の新バージョン、「東京スカイツリー®キャラメルワッフル」もおすすめです。網目模様の香ばしいワッフル生地に口溶けの良いキャラメルクリームをサンド、さっくりザクザクとした食感が楽しい。

洋菓子界の巨匠、吉田菊次郎が手がける「銀座ブールミッシュ」ならではの逸品スイーツの数々。スイーツ好きなら見逃せません。

©TOKYO-SKYTREE

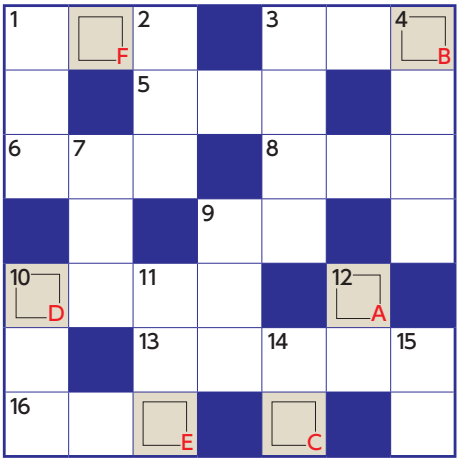
「東京スカイツリー®フロランタン」（8個入）
「東京スカイツリー®キャラメルワッフル」（5個入）

銀座ブールミッシュ 東京スカイツリータウン・ソラマチ店
東京スカイツリータウン・ソラマチ 2F
10：00～21：00／お問い合わせ：☎ 03-5610-3178

マンスリークロス

図書カードが当たる!!

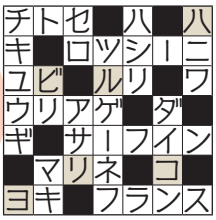
※ヒントを読んでマス目をうめ、A～Fの文字をアルファベット順に並べてください。それが答え。



【応募方法】
クロスワードの答えと住所・氏名・年齢・電話番号・本誌の入手先を書いて、以下の宛先へ。「ボイス」※へのお便りがある方は、「ボイス」と書いて投稿してください。ペンネームでのご応募も歓迎（なお、お送りいただいた原稿や写真は返却できません）。
※「ボイス」は、読者の皆さんの感想などを紹介する本誌のコーナーです。掲載は不定期ですので、ご了承ください。
〒131-8522 東武鉄道広報部「マンスリークロス」係（住所不要）正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
締切は12月20日（木）当日消印有効です。

ホームページからもご応募・投稿いただけます。
マンスリーとーぶ 検索

☆11月号の答え
『コハルビヨリ』



●タテのカギ

1 アニメ「からかい上手の○○○さん」とコラボ。○○○神社
2 日本ならではの暖房具
3 東武スカイツリーラインの浅草駅に直結の浅草駅ビル
4 浅草駅ビルの浅草ハレテラスにある○○○○稲荷神社
7 東武の特急、滝といえば？
9 微笑んでにっこり笑うことを指す四文字熟語。○○○一笑
10 12月の異称
11 だ液のアミラーゼや胃液のペプシンなどの消化○○○
12 1000kg＝1○○
14 ○○でも動かない
15 東武東上線で朝霞台駅と柳瀬川駅の間にある○○駅

●ヨコのカギ

1 渋谷から墨田区に移転してきた「○○○と塩の博物館」
3 縁。「えん」以外の読み方は？
5 駅伝でつなぐもの
6 議案を審議して可否を決定すること
8 ひとつ、ふたつ、○○○
9 ○○の大仏とも呼ばれる鎌倉の大仏
10 東武日光線で、栗橋駅と柳生駅の間にある○○○○駅
13 有村架純さんが電車の○○○○に扮する映画『かぞくいろ RAILWAYS わたしたちの出発』は現在公開中
16 ○○○を燃料とする燃料電池自動車

※ご応募いただきました方の個人情報は、「マンスリークロス」当選者への賞品発送および「ボイス」掲載者への粗品進呈以外の目的で使用することはありません。

北斎美術観絵図散歩 24景

「蓑市（みのいち）」で賑わう浅草寺境内 行き交う人々の様を丹念に描く

「浅草の観音様」金龍山浅草寺境内より東京スカイツリーを望む。

『画本東都遊 浅草蓑市』葛飾北斎画（すみだ北斎美術館 所蔵）

「すみだ北斎美術館」所蔵の葛飾北斎が描いた江戸の名所を散策するこのコーナー。今回は『画本東都遊（えほんあずまあそび）』から人出で賑わう浅草寺境内を描いた『浅草蓑市』をご紹介します。

＊

『画本東都遊』（上・中・下全三巻）は享和2（1802）年に刊行された絵本で、四季折々の江戸の名所を描いた、楽しい観光案内的な内容です。収録されている作品は、もともと寛政11（1799）年に蔦屋耕書堂（つたやこうしょどう）という絵草紙屋から刊行された『東遊（あずまあそび）』という狂歌本に墨絵で描かれていた挿絵で、その中から北斎の絵だけを抜き出し、彩色摺りの絵本として再編集したものです。

画題となっている「蓑市」とは、「浅草の観音様」として庶民の信仰を集めてきた金龍山浅草寺の境内で、毎年「三社祭」の行われた3月17・18日（現在は5月に挙行）の翌日にあたる19日と、その年最後の縁日「歳の市」（12月17・18日）が立った翌日の19日の年2回行われていた恒例行事でした。

「歳の市」では、正月飾りや羽子板をはじめ食品雑貨などが売られましたが、「蓑市」はその名の通り、近郷から出てきた農民が内職で作った蓑や笠を商いました。『江戸名所図会』には「同日、近在の農夫蓑を持ち出でて、雷神門（雷門）の前および馬道（現・馬道通り）等の辺にて是を鬻（ひさ）く」と記されています。

浅草寺の「蓑市」は明治初頭には行われなくなりましたが、その前に行われていた「歳の市」（「羽子板市」12月17～19日）はいまも健在で、江戸情緒あふれる歌舞伎などの絵柄や、その年話題となった有名人の似顔を描いた羽子板が毎年話題となります。

「夫婦狛犬」
浅草神社境内右側に相合傘で寄り添って立つところから、縁結びの狛犬として知られる。

「旧五重塔跡」
浅草寺の五重塔は、現在とは反対側に建っていたが、昭和20年の東京大空襲で焼失。

「時の鐘」
芭蕉の句で「花の雲鐘は上野か浅草か」と詠まれ、毎年大晦日には除夜の鐘が撞かれる。

マンスリーとーぶ　2018年12月1日発行（毎月1日発行）第836号
発行　東武鉄道広報部　〒131-8522　東京都墨田区押上2-18-12
東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102 ©東武鉄道 2018 Printed in Japan

●表紙／Takefumi Suzuki ※イラストはイメージです。

ワインの時間

ブルゴーニュもいいけどボルドーもいい。
今宵は白ワインから攻めようか‥‥。
やっぱり赤からだ。
ボウルの広い縁のフレアなワイングラスを
食卓に置く、舞台は整った。
初おめみえのワインオープナー。
シンプルでユニークなデザインが、
おおいに気に入った。

●『ル・クルーゼ』のワインオープナー「ガイア・LM150」と「アイスクーラースリーブ・WA126」。特許技術を用いた、機能性に優れたワインオープナー「ガイア」。レバーを上下させるだけで簡単にコルクが抜けます。アイスクーラースリーブは、事前に冷凍庫で冷やしておいて、ボトルの上から被せるだけでワインを冷たくキープします。ワインオープナー「ガイア・LM150」(チェリーレッド)／12,960円(税込)／色:ブラック、チェリーレッド。「アイスクーラースリーブ・WA126」(チェリーレッド)／2,484円(税込)／色:ブラック、チェリーレッド、オレンジ、カリビアンブルー。

池袋店 6F 2番地　キッチンテラス

TOBU

池袋 東武

http://www.tobu-dept.jp
豊島区西池袋1-1-25 〒171-8512
ナビダイヤル/0570-086-102
通話料はお客様負担となります。

営業時間:午前10時～午後8時
B2F～3F、6F(3～7番地)、9F・10Fは
日曜・祝日を除く毎日午後9時まで営業。

年内は全館休まず営業いたします。
12/23(日・祝)、12/24(月・振)は、B2F～3F、6F(3～7番地)、9F・10Fは午後9時まで営業いたします。

休業日のお知らせ:1月1日(火・祝)

[年末・年始の営業時間]
12月30日(日)=午前10時～午後8時、B2F・B1Fは午前9時～午後9時まで営業。
12月31日(月)=午前10時～午後6時、B2F・B1Fは午前9時～午後7時まで営業。
1月2日(水)=午前9時30分～午後8時まで営業。
1月3日(木)=午前10時～午後8時まで営業。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C016722 www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
ENERGY GREEN BIOMASS
To Paper 古紙再生適性
GREEN PRINTING JPPI P-A10025
本誌は、①適切に管理された森林からの材料を含むFSC® 認証紙を用いて「森林資源保全」に、②石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを使用し光化学スモッグの原因となるVOC(揮発性有機化合物)を削減して「大気保全」に、③印刷・製本に用いる電力(1,292kWh)をバイオマス発電のグリーン電力で賄い「温暖化防止」に、④ご利用後に「印刷用の紙に再生できる」よう配慮して、⑤GP認定製品として製作・発行しています。ご不要になられました際には古紙回収にお出しください。